



2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
 コード番号 6047 URL <https://gunosy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹谷 祐哉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 岩瀬 辰幸 (TEL) (03)5953-8030
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	6,045	△8.4	△156	—	△1,233	—	△492	—
2022年5月期第3四半期	6,598	2.3	189	△66.4	△31	—	△14	—

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 △477百万円（-％） 2022年5月期第3四半期 14百万円（△95.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	△20.56	—
2022年5月期第3四半期	△0.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	13,011	11,515	87.7
2022年5月期	13,518	11,934	87.3

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 11,405百万円 2022年5月期 11,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年5月期	—	0.00	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2023年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,250	△8.3	△290	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期3Q	24,237,774株	2022年5月期	24,237,774株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	222,359株	2022年5月期	320,009株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期3Q	23,963,159株	2022年5月期3Q	23,738,720株

（注）自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2022年5月期：118,442株、2023年5月期3Q：99,792株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2021年に74.3%と前年比5ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き普及拡大しており（総務省調べ）、また、2022年の広告費は前年比104.4%の7兆1,021億円と、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の感染再拡大、ウクライナ情勢、物価高騰など国内外の様々な影響を受けつつも、通年で過去最高額となりました。その中でも、社会のデジタル化を背景に好調なインターネット広告費が市場の成長へ寄与しており、前年比114.3%の3兆912億円と、2兆円を超えた2019年からわずか3年で約1兆円の増額となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、既存のメディア事業においては「グノシー」の収益性の向上及びKDDI株式会社との協業アプリである「auサービスToday」「ニュースパス」の同社との連携強化による成長実現に注力しております。「グノシー」については、社会のインフラとなるような新しい時代のニュースメディアを目指し、社会的価値の高い「知っておくとよい情報」、個人的価値の高い「知りたい情報」の最適な配信の実現に向けた施策に取り組んでおります。当第3四半期連結会計期間においては、「グノシー」の成長余地を再評価し、当事業をグループ全体の中長期的な成長ドライバーと位置付けた上で広告宣伝投資の拡大を行いました。投資強化により獲得をした新規ユーザーの継続率は、想定通り好調に推移したほか、第1四半期から取り組みを進めていた広告ロジックの改善などにより、ユーザーあたり収益性についても改善傾向を維持した状態となりました。引き続き厳格な広告審査を行い、ユーザーの皆様にご利用いただけるような広告体験の実現に注力しております。

新規事業においては、引き続き社内/社外への成長機会への投資を行ってまいりました。ムードペアリングティーマー「YOU IN」は、ギフト需要の高い小売店舗へ販路を拡大し、オフライン店舗での出店に伴う更なる認知度向上へ取り組んでおります。また、当社の持分法適用関連会社であるGaragePreneurs Internet Pvt. Ltd.（以下、GaragePreneurs）においては、インド準備銀行（RBI）公表のDigital Lending Guidelinesに準拠した新プロダクトの提供を2022年12月より開始しております。

収益面に関しては、当第3四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を3,672百万円計上いたしました。また、アドネットワークに係る売上高においては、厳格な広告審査を継続する中、当第3四半期連結累計期間で510百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、「グノシー」の再成長に向けた広告宣伝投資を継続した結果、広告宣伝費767百万円（前年同四半期比32.5%減）を計上するほか、アドネットワークに係る売上高の減少に伴い媒体費が減少いたしました。

その他、持分法適用関連会社であるGaragePreneursに関して持分法による投資損失1,055百万円を計上する一方、2022年6月に行われた第三者割当増資により当社の持分比率が変動したことに伴い、持分変動利益1,001百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高6,045百万円（前年同四半期比8.4%減）、経常損失1,233百万円（前年同四半期は経常損失31百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失492百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円）となりました。

なお、「グノシー」「ニュースパス」「auサービスToday」及び「LUCRA（ルクラ）」合計の国内累計DL数は当第3四半期連結会計期間末において7,380万DLとなり、前連結会計年度末比で397万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて507百万円減少し、13,011百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比681百万円の減少）、流動資産のその他の増加（前連結会計年度末比154百万円の増加）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比233百万円の増加）、繰延税金資産の減少（前連結会計年度末比225百万円の減少）であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて87百万円減少し、1,495百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少（前連結会計年度末比121百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比56百万円の減少）、前受金の増加（前連結会計年度末比108百万円の増加）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて419百万円減少し、11,515百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比573百万円の減少）、自己株式の減少（前連結会計年度末比156百万円の減少）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月13日に公表いたしました2023年5月期通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第3四半期連結累計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、1DLあたりの獲得費用、新規DLについて、それぞれ順調に推移いたしました。

売上高につきましては、広告宣伝投資の再開により継続率等が高い新規ユーザー数の増加を見込んでおります。引き続き、ニュースアプリとしての価値向上に向けた各種プロダクト改善施策へ取り組み、ユーザーあたり収益性の改善を進めてまいります。

費用面につきましては、「グノシー」の再成長に向けた広告宣伝投資を継続した結果、広告宣伝費767百万円（前年同四半期比32.5%減）を計上するほか、アドネットワークに係る売上高の減少に伴い媒体費が減少いたしました。

今後につきましては、ユーザーの継続率やユーザーあたり収益性の状況を慎重に見極めながら「グノシー」への広告宣伝投資を継続すると共に、KDDI株式会社と協同で、「auサービスToday」「ニュースパス」について、auユーザーの利用率向上に向けたプロダクト改善に注力してまいります。連結子会社である株式会社ゲームエイトにおいては、主要事業であるゲーム攻略メディア「game8.jp（ゲームエイト）」の盤石化を進めながらも、新たな成長ドライバーの獲得に向けた新規事業の推進等を進めてまいります。また、当社の社内新規事業として、D2Cブランド「YOU IN」の販路拡大を推進するほか、非連続的な成長に向け、社外の有望なスタートアップ企業に対する投資やM&Aに引き続き積極的に取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,492	5,811
売掛金	772	815
その他	612	766
流動資産合計	7,877	7,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15	14
その他（純額）	10	7
有形固定資産合計	26	21
無形固定資産		
のれん	63	46
その他	50	38
無形固定資産合計	114	84
投資その他の資産		
投資有価証券	5,180	5,414
繰延税金資産	241	16
その他	76	81
投資その他の資産合計	5,499	5,511
固定資産合計	5,641	5,618
資産合計	13,518	13,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	637	515
未払金	297	309
未払法人税等	73	16
前受金	348	456
ポイント引当金	7	0
株式給付引当金	13	2
賞与引当金	—	9
その他	185	141
流動負債合計	1,563	1,451
固定負債		
株式給付引当金	3	11
繰延税金負債	16	33
固定負債合計	20	44
負債合計	1,583	1,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,099	4,099
資本剰余金	4,099	4,099
利益剰余金	3,709	3,136
自己株式	△463	△307
株主資本合計	11,444	11,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	53
繰延ヘッジ損益	55	72
為替換算調整勘定	257	251
その他の包括利益累計額合計	360	377
新株予約権	86	69
非支配株主持分	43	40
純資産合計	11,934	11,515
負債純資産合計	13,518	13,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	6,598	6,045
売上原価	3,692	3,675
売上総利益	2,906	2,369
販売費及び一般管理費	2,717	2,526
営業利益又は営業損失(△)	189	△156
営業外収益		
受取利息	0	5
為替差益	13	9
その他	0	2
営業外収益合計	14	18
営業外費用		
支払手数料	9	12
遊休資産諸費用	204	—
投資事業組合運用損	14	17
持分法による投資損失	—	1,055
その他	5	10
営業外費用合計	234	1,095
経常損失(△)	△31	△1,233
特別利益		
投資有価証券売却益	80	9
持分変動利益	—	1,001
新株予約権戻入益	10	18
その他	—	2
特別利益合計	91	1,030
特別損失		
投資有価証券評価損	50	—
特別損失合計	50	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9	△202
法人税、住民税及び事業税	139	66
法人税等調整額	△121	226
法人税等合計	18	293
四半期純損失(△)	△9	△495
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	△492

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純損失(△)	△9	△495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	6
繰延ヘッジ損益	—	17
為替換算調整勘定	△15	10
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△16
その他の包括利益合計	23	17
四半期包括利益	14	△477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9	△475
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期を予測することは困難ですが、今後2023年5月期の一定期間にわたり、当該影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。